



ホームページが新しくなりました。QRコードを読み取り御覧ください。スマイル附属情報を様々に発信中です！

令和4年度 附属小学校だより

スマイル²ふぞく



第8号 令和4年12月23日（金） 校長 古野 祐一

命の安心・安全教育！

①12月13日（火）の不審者避難訓練

今年度、児童の命を組織的に守る教職員集団となるために、意識と実践力を高めてきた避難訓練。今回の訓練は、不審者がどこからはいってくるのか担当者しか知りません。附中側の裏門から運動場に侵入と想定した訓練から見たことは、より迅速で明確、組織的な連携が更に必要ということです。どこで、何が起きているのか、状況に応じた避難のさせ方はどうすれば良いのかなど、実際に即した動き等を深く考える機会となりました。

放課後には、全職員で振り返りの研修を行いました。平成13年に起きた痛ましい殺傷事件を教訓に、安全教育を実施している大阪教育大学附属池田小の訓練方法や考え方を動画で視聴し、改善点について学び合う場を設けました。子どもたちの命を預かる職に携わっているという自覚と使命を、皆で見つめ直す貴重な時間となりました。

訓練は続けていきますが、最も大切な「不審者を校内に入れない」ということを更に追求していきます。

②12月15日（木）の救命救急講習

子どもたちが急に倒れた時の心肺蘇生や AED の使用に不安は無いのか、給食中に食べ物を喉に詰まらせた時に対処できるのか。こうした様々な緊急対応を再点検するために、長崎市北消防署員の方を講師に招いて訓練を実施しました。過去にも講習を経験したことのある教職員が殆どですが、何度でも対処法を学び、更新していく必要を感じた時間でした。一人の時はどうするのか、AED を使いながらどう心肺蘇生を継続するのか等、様々な思いを巡らせながら、命を救う短い時間の貴重さと救命行動の重みを実感しました。改めて瞬時に動くための訓練を積み重ねていかねばと誓ったところです。

マスコットキャラクター募集！

12月6日（火）の人権集会で「北斗の子宣言」が発表されました。運営委員会を中心に全校で考えたものです。

- | | |
|---|---------------------|
| ほ | 星空のように、明るい学校をつくります。 |
| く | クラスを越えて、みんなで助け合います。 |
| と | 共に問題に向かい、解決します。 |

ここに込められた想いを活かし、北斗の子どもたちの生き活きとした成長を応援するマスコットキャラクターを募集したところ多数の力作が集まりました。もし、冬休みに家族で描いた場合は始業式に提出ください。北斗の子を、ますますスマイルにしてくれるマスコットキャラクターを期待しています。

決定したマスコットとともに、新年もスマイル²附属の発展を目指していきます。御家族で良い年をお迎えください。



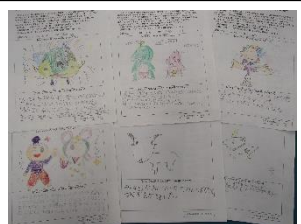
不審者に詰め寄る本校職員。



放課後に危機管理の研修をする教職員。



職員研修で AED 使用の訓練をする教職員。



応募があったマスコットキャラクターたち。

※裏面に続きます！

笑顔の支え

8時前に校舎を巡回しています。その中の楽しみが、黒板のメッセージを見ることです。本校では、毎朝、担任が黒板に子どもを迎えるメッセージを記します。12月に記されていたものを紹介します。「さむい中、がんばってとうこうしましたね。うれしいです。」

雪混じりの寒い朝に、子どもの心を温めるメッセージです。

「目標達成おめでとう。やはりあなたの力が必要でした。」

長縄になかなか気持ちが向かない子どもを賞賛、鼓舞するメッセージです。

「このクラスのこと 好きですか。」

学級のこれまでの取組に対して、自信や誇りを伝えるメッセージです。

「かじかむ手で持つ竹箒 尽くす姿をきっと皆が見てくれますよ。」

朝掃除に励む6年生に向けたメッセージです。

言葉の力

このメッセージで多くは語りません。担任は、子どもの心の機微を読み取り、今の子どもに伝えたい一番の言葉を選びます。子どもは、短い言葉に込めた担任の想いをくみ取り、1日をスタートさせるのです。

人は言葉でつながります。人の心がわかるのも、心が重なり合うのも言葉によります。人を励まし、勇気づけるのも言葉ですが、逆に傷つけるのも言葉の力です。また、信頼や尊敬の念がなければ、どんなに正しい言葉であっても、子どもの心には入っていきません。

気の利いた言葉の使い手ではなく、伝えたい想いを磨きながら、全教職員で子どもに届く言葉の使い手を目指していきます。

本年も、温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。ご家族皆様でよいお年をお迎えください。

教頭 橋田 晶拓

北斗の学び

「勤勉性」を高める

仕事や学習に必要なだと言われている「勤勉性」を高めるために、精神分析家であるエリクソンは、「遊び」が大切であると述べています。「勤勉性」と「遊び」とは矛盾しそうですが、「遊び」では、同世代の仲間と道具や知識、体験を共有するため、「勤勉性」を構成する「自分の課題に挑戦し、それを成し遂げることに喜びを見いだす」ことができるようになるというわけです。そして、この「勤勉性」こそ、7歳から12歳までの大きなテーマであり、小学生の時の過ごし方が大人になったとき、社会的に勤勉に生きていくことができるかどうかの重要なポイントになると言われています。そう考えると「遊び」は、小学生の子どもにとって大切だと言えます。

北斗の子の学びは、まるで「遊び」であるかのように、没頭し、笑顔で営まれることが少なくありません。子どもたちは、「遊び」のように「学ぶ」ことで各教科等の資質・能力だけでなく、仲間と共に、「勤勉性」も獲得しているのです。

これから冬休みに入ります。冬は、伝統的な遊びや慣習が数多くあります。また、近所の友達や親戚と遊ぶ機会もあるでしょう。これまでの北斗の学びを發揮し、さらに「勤勉性」を高めた子どもたちと新しい年に再会できることを楽しみにしています。

主幹教諭 吉田 公悦

潜入！附属小リアルスコープ

この1年に感謝を込めて・・・

2022年「今年の漢字」に選ばれた漢字は「戦」でした。スポーツ界の様々な挑戦も理由の一つとして挙げられていましたが、やはり漢字そのものもつ意味として、不安や悲しさを感じずにはいられませんでした。

自分にとっての「今年の漢字」を考えることは、改めてこの1年を振り返るよい機会となります。年末の最後の学活で子どもたちが取り組む学級もありますし、私も現在担当している書写の学級で子どもたちとともに取り組みました。子どもたちは、何でも前向きに取り組んできたから「前」だとか、嬉しいことがたくさんあったから「喜」だとか、中には自分の名前の漢字を選ぶ子がいるなど、思い思いに「今年の漢字」を半紙にしたためていました。

ちなみに私が選んだ漢字は、「会」。今年は、各学級の様々な事態に対応する上で、非常に多くの子どもたちとの出「会」いを果たすことができました。北斗の子の素晴らしい一面をたくさん目にすることができ、学校という場所がまた一段と好きになりました。そのような素敵な出会いに感謝しつつ、新年に思いを巡らせながら、今年一年に幕を閉じたいと考えているところです。

教務主任 才木 崇史